

読者の皆さんから届いたお便りなどを紹介します

**夏**の暑いさなかにまいたキビが実り、刈り取って天日干ししていたものを、11月26日に昔なつかしい足踏み式の脱穀機と唐箕とうみを使って収穫作業をしました。

キビは、市有機農業推進協議会の取り組みの一つとして、山田宮農生産組合や清音で栽培しています。山田では約20アル植

えましたが、有機栽培のため、除草にはマルチというシートを使ったり、スズメの被害を防ぐためにネットを張ったりと丹精込めて育ててきました。

今年約100kgとれました。初めて栽培した昨年はスズメの被害に遭い不作だったため、収穫したキビを見ていると、ほっとしました。

(小西和義さん・山田)

**今**までボランティアというものがほとんど参加したことがありませんでしたが、大学の仲間



足踏み式の脱穀機や唐箕を使って作業

子育て王国そうじや応援団が開催した「子ども料理教室」にボランティアとして参加しました。

この企画は、私たち岡山県立大学の栄養学科の学生がボランティアで主体となって企画から準備、運営までを行い、とてもたいへんでした。

いっしょに料理したのは、みそ汁やあえものなど4品です。話を静かに聞く子どももいれば、こちらの言葉の一つひとつに反応してくる子どもがいたり、子ども



子どもたちはボランティアといっしょに料理を楽しんだ

もの反応もさまざまでした。これまであまり関わることはできなかった小さい子どもたちとふれあい、とても良い経験になりました。

ボランティアに参加して、子どもと接することの楽しさに気付き、自分たちのような学生でも子育ての支援ができるということを知りました。これからは、このような団体が増え、地域全体で子育て支援をできるような社会になってほしいと思います。

(平田泰介さん・小寺)

↓点線に沿って切り取ってください。(官製ハガキでも可)

**市民憲章**

わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。

このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

- 1 郷土を大切に  
美しい環境をまもりましょう。
- 1 生涯学び  
明るい家庭をきずきましよう。
- 1 たがいに助け合い  
あたたかいまちをつくりましよう。

- ◎市の花/れんげ
- ◎市の木/もみじ
- ◎市の鳥/タンチョウ

1月24日から30日は学校給食週間

<給食の食器が3枚に>



給食の献立には、和食を多く取り入れ、ごはん給食も、昨年の週平均3回から今年は週平均3.5回(月15回程度)に増やし、日本型の食事を基本としています。これは生活習慣病の予防や、はしをしっかりと使ってもらおうとしているからです。また、食事のマナーも、給食を通じてしっかり身に付けてもらいたいと思います。

写真は、総社東小学校の皆さんです。

**毎**年、1月24日から30日は学校給食週間です。この機会に給食について、子どもたちと話し合ってみてはどうでしょうか。

総社、総社北、総社中央、常盤、総社東、阿曾、山手、清音の各小学校で2学期から3つ目の食器を導入。総社東、総社西の各中学校では平成20年に導入しており、現在、市内のすべての小・中学校で、食器3枚による給食を提供しています。

食器が3つになったことで、ごはんやうどんなどの「主食」、汁物、おかずの「主菜・副菜」の3つを、分けて盛り付けることができます。導入して4か月、「食器を手を持って、良い姿勢で食べるようになった」「ごはんをしっかりと食べるようになった」との声も聞きます。

導入した食器は、従来から使っているおわん型と同型のもの。市では、平成20年の購入分も合わせ10校分約5000人分の食器と、運搬用の器具などを新たに購入しました。

**学校給食を知っ展**

2月3日(水)～10日(水)  
市役所1階ロビー

市民の皆さんに学校給食を知ってもらおうと、食事の重要性や社会性などを学ぶ学校給食の役割や現状、給食に使われる食材の紹介、子どもたちの感想のほか当日の給食を展示します。

2月3日(水)から5日(金)までの毎日、正午から午後1時まで、総社市保健センターで学校給食の試食会を開催。各日30食限定(会場で正午から先着順で受付)で、給食代260円が必要。



問い合わせ 総社東学校給食共同調理場 ☎92-2616